

発行者：公益社団法人 愛媛県鍼灸マッサージ師会  
会長 浦川 武之  
事務所：〒790-8032 松山市南斎院町 951-11  
TEL・FAX：089(974)1219  
E-mail：ehimekenshikai@e-ahaki.com  
編集者：機関誌作成委員長 岡田 亮

## 平成30年度 中央学術研修会 報告

学術部長 三谷武

愛媛県立中央病院漢方内科主任部長の山岡傳一郎（やまおか でんいちろう）先生をお招きし、『不健康寿命を減らすための伝統医療』～二千年前の医学書『素問霊枢』を現代に活かす～と題して、古来から現在に至るまで伝わっている東洋の医療についてつぶさにお話をいただきました。

伝統医療と現在の絆を学ぶことができ、充実した90分間となりました。

これからも県師会では、皆様を積極的な参加に導けるよう濃厚な内容でお送りしていく所存ですので、皆様、宜しくお願い致します。



## 新年の挨拶

### 会長 浦川武之

会員の皆さんにおかれましては、平成最後の年末年始をお変わりなくお過ごしであったと存じます。さて、今年の最初(1月3日)に本会の顧問であられる医師 榎本真聿(みつもと しんいち)先生と(公社)愛媛県鍼灸マッサージ師会事務所にて対談することができました。今後の私たちの進むべき方向性を考えていくヒントになればと思い、ここに今年最初の挨拶として書かせていただきます。(浦川が口火を切って対談は始まる。)

浦川：榎本先生、あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

榎本先生：あけましておめでとう、こちらこそ。

浦川：前年度の中央学術大会ではお世話になりました。先生のご指導を元にして、その後の経過として松山市では介護予防の活動に参加したり、一層ボランティア活動に力を入れています。

榎本先生：それは良かったですね。まずは一歩踏み出してやってみることでですね。お役に立ててよかったです。

浦川：先生から教わった「目的をはっきりと、手段はしっかりと」を守っています。

榎本先生：私が大学病院で経験したこととして、入院前から退院支援を開始することと、患者さんの過ごす病棟はもちろん、「生活に戻る」というゴールを病院全体で共有することが必要であることが必須となってきました。すなわち入院する時から退院後の生活を、どのようなところでどのように過ごすかを考えていくことが必要であったのです。10年前には周りに認められなかったことですが、今では退院後の生活支援が当たり前になってきていますよ。

浦川：先生、言葉として発信していき継承していくことで、正しいことが世の中にとって役に立っていくのですね。

榎本先生：現在は色々なところから声がかかって、あまり愛媛にじっとはしていないのですよ。

浦川：お忙しいのはよろしいのですが、体力がないといけませんよね。でも、以前よりお若く見えるし、スタイルが素敵ですね。

榎本先生：そうだね。体力はないといけないし、運動して体を鍛えらるともっと動ける自分がそこにいることに気づかされて、また体を動かすという良いサイクルができていますね。

浦川：それを聞くと、今年の私の目的が決まりました。限界を自分で決めずに挑戦する一年にしたいです。

榎本先生：現在、滋賀県の近江市のほうで仕事をしています。「三方よしプラス」を推奨しています。近江商人には「三方よし」という考え方があります。「売り手よし」「買い手よし」「世間よし」で「三方よし」です。つまり、売買の当事者同士が納得すればよいのではなく、その取引が社会からも認められるものでなければならないということです。内容を話すと次のようなことです。近江商人の考えの中に「売り手よし」「買い手よし」「世間よし」と言われていますが、私はそれにあと一つプラスして「未来よし」を提案しています。近江商人の考えの中にある売側の利益だけでなく、買い手の損得も考えて丸く収めていき、社会そのものがよい方向に向かうのであるといわれていますが、その時

に未来のことも考えて行動しなくては今が生きられないということですよ。すなわち今だけを見て判断し活動するのではなく、現在の活動が未来にどのようにつながるかを見定めて行動をするということです。

浦川：そうすると、私の仕事である治療ということに目を向けると、患者さんにとって体力が回復して施術効果がよい方向に向いてくれることは「患者よし」、そして「施術者よし」、それが全体として「社会よし」となればよいのですが、そのあともう一つ、患者さんがいつまでも患者であっていけないのですね。患者さんである本人が健康に向かう考えを、行動として生かしていく必要がありますよね。施術者としては患者さんを減らしていく方向で活動するということであるなら、健康になった人を継続して健康である姿に手助けできることが大切であって、患者さんを抱え込むことが目的となってしまうことですよ。

榎本先生：そうですね。東洋医学の良いとこですね。西洋医学のように専門的に細分されるのではなく、病名をつけるのではなく、人を診ていくことで、かかりつけ鍼灸マッサージ師として地域に根付くことができますよね。病を治すだけでなく養生を考えて。

浦川：先生ありがとうございます。今年の本会の活動をぜひ注視しててください。これまで以上に飛躍できるよう努めます。

榎本先生：そうだね。もしよかったらイベントを一緒に行きましょう。

### 監事 森山太

昨年会は法人設立40周年となりました。これまで本会を導いて下さった諸先輩方に感謝申し上げます。今後も公益社団法人の監事として会員各位と本会の発展のため努めてまいります。

### 総務部長 森康臣

会員の皆さま、健やかな新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。5月には、新元号となる今年、穏やかな一年になりますよう祈念いたします。また、微力ではありますが、本会のために頑張っていますので、今年もよろしくお願いいたします。

### 経理部長 佐藤佳孝

新年のお慶びを申し上げます。昨年の豪雨災害により罹災された会員も、新たな気持ちで前向きに進んでいただきたいと思います。今年は平穏な年であることを祈念いたします。

### 事業部長 田窪京子

2019年は、平成から新元号に変わる年。新しい時代の幕開けとなる、まさに変化を意味する年です。時代のうねりに対応できるよう、臨機応変に考え方を柔軟にしたいものです。チームワークを大事にして、気力・体力の充実を図り、本会が発展していけるよう、微力ではございますが頑張っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。皆さまにとって、充実した健やかな一年になりますように！

### 広報部長・青年女性部長 松岡嵐

新年あけましておめでとうございます。私は2018年をあっという間に感じました。なかなか行動が出来ず後悔の年となってしまいました。2019年は早め早めの行動で余裕をもった1年にしたいなと思います。小さなことからコツコツと！目標や信念を明確にし、県師会の発展に繋がればと思います。

### 機関誌作成委員長 岡田亮

今年も皆さんに会の情報をわかりやすくお伝えするために、県師会情報の作成に努めたいと思います。ご意見、ご感想をお待ちしています。今年もよろしくお願い致します。

### 監事 加島栄一

新年明けましておめでとう御座います。昨年の青年女性大会でのマナー講習で、私達鍼灸師の言葉の使い方が上から目線で話していることに気がつき、大変恥ずかしい思いです。患者さんの身になって接する、正しいお持て成しの精神で対応していくことが大切と感じました。本年も気持ち新たに、私達業界の発展に努力していきたく思います。

### 保険部長 石丸洋

新年あけましておめでとうございます。はりきゅう、マッサージ療養費は、平成31年1月から受領委任制度が導入されました。新しい制度とともに、はりきゅうマッサージ療養費制度をしっかり理解し、会員の皆様の疑問に答えられるようにしていきたいと思います。本年もどうぞよろしくお願い致します。

### 学術部長 三谷武

今年度においては腰痛治療、被災地での鍼灸マッサージ師の活動、東洋医学と漢方の在り方など多岐に渡る研修会を行ない、盛況の内に新年を迎えることが出来ました。来年度は地域健康づくりを軸に更に我々業界を活性化させる研修会を実施して参りたいと思いますので、皆様のご協力を賜りますようよろしくお願い致します。

### 法制部長 富永恵子

皆様良い新年をお迎えのことと存じます。本年が(公社)愛媛県鍼灸マッサージ師会にとって飛躍の年となりますように、また皆様におかれましても変化と発展、新しい発見の年となりますように願っております。法制部としまして皆さんの日頃の疑問、ご意見を広く集め解決策を模索すべく、新年早々にアンケートを予定しておりますので、ご返送を必ずお願い致します。

### 普及事業委員長 矢内原樹

年明け早々療養費の受領委任払いが始まるなど、保険を取り巻く環境は厳しくなっています。その中でも感度を高め、色々な情報収集をし、少しでも皆さんに還元できるよう頑張っていきたいと思います。今年もよろしくお願い致します。